

自然災害の経験を未来へつなぐ

― 名古屋大学減災館の活動から ―

減災館では地域と連携した防災・減災研究と活動を展開しています。
これまでの地域の自然災害に関する展示と、将来に向けた活動をご紹介します。

2023
6.20 火 ~ 7.9 日

時間：10:00 ~ 18:00

(月曜休館。土日は17:00まで。最終日7/9は16:00まで。)

場所：名古屋都市センターまちづくり広場・ホール

名古屋市中区金山町1-1-1 金山南ビル11F

参加費：無料

7.9 (日) 最終日スペシャル

10:00-12:00 ギャラリートーク

数人のセンター教員が、減災に関する
いろいろな話題をコンパクトに提供し
ます。

13:30-15:30 シンポジウム

「伊勢湾台風の災害記録をひも解いて
改めて見えてきたこと」

事前申込をお願いします。詳しくは
QRコードでセンターホームページへ



主催：名古屋大学減災連携研究センター



7月9日(日)最終日スペシャル

午前:10:30-12:00 ギャラリートーク

減災連携研究センターの教員から、活動内容をコンパクトにお話します。出入自由ですので、一部でも気軽にお聞きください

- ・減災館のさまざまな活動

飛田 潤 (センター長・共創社会連携領域教授)

- ・震は亨る～幸田露伴と関東大震災

都築 充雄 (中部電力寄附研究部門特任准教授)

- ・災害時のライフラインについて考える

小沢 裕治 (東邦ガスネットワーク産学協同研究部門特任准教授)

午後:13:30~15:30 シンポジウム

「伊勢湾台風の災害記録をひも解いて 改めて見えてきたこと」

伊勢湾台風について、新たな観点からの研究展開を議論します。

話題提供 1 「伊勢湾台風によって決壊した海岸・河川堤防とその仮締切作業」
田代 喬 (名古屋大学減災連携研究センター特任教授)

話題提供 2 「伊勢湾台風による名古屋市の避難者分布を明らかにする取り組み」
荒木 裕子 (京都府立大学大学院生命環境科学研究科准教授)

話題提供 3 「伊勢湾台風に関する情報の地図上への集約とその解釈」
倉田 和己 (株式会社ファルコン/
名古屋大学減災連携研究センター博士研究員)

総合討議： 講演者、コメンテーター

コメンテーター：富田 孝史 (名古屋大学減災連携研究センター教授)

現地参加のみの開催です。下記ホームページ
もしくはQRコードから、事前申込をお願いします。
シンポジウムホームページ

<http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/?p=23846>

